

全国の看護師を応援！

CO-OPナース

医療福祉生協連の看護師求人サイト「CO-OP ナース」に掲載されている病院やそこに勤務する看護師の仕事を紹介します。



長谷部美知子さん(前列右から●番目)

「障害を抱える子どもと一緒に生きていく」を支えたい
浜通り医療生協 訪問看護ステーションかもめ 所長 長谷部美知子

すが珍しくありません。小児の訪問は重度の障害があり、人工呼吸器管理や胃ろうの管理、吸引や時間導尿など医療的なケア・処置が必要なケースが多く、小規模の事業所で支えるのは困難と判断されてしまったためと思われる。小児がんや発達障害など、かかわりが難しい症例も多く、当訪問看護ステーションでも日々悩みながら利用者と向き合っています。Mさん9歳。脊髄性筋萎縮症Ⅰ型^{※1}で、生後間もなくから人工呼吸器管理となり、現在は訪問学級を受けています。Mさんには妹と弟がいますが、学

当訪問看護ステーションは開所してから約20年が経過しました。小児から高齢者まで約100人前後の利用者を訪問しています。多くは高齢者ですが、小児の依頼があれば断らずに受けるようになっています。小児を受け入れていない事業所がまだ多く、相談をした際、数件から断られたというケ

校や保育園の行事にお母さんがなかなか参加することができません。ショートステイを利用できる場所を探していますが、受け入れてくれるところがないのが現状です。少しの間でもお手伝いができればと訪問しています。Kさん12歳。脊髄係留症候群^{※2}後に神経因性膀胱(尿失禁・自閉症スペクトラム^{※3})に。幼少より父からのDV^{※4}をうけ、母や妹に対して暴力的になったり自傷行為もありました。8歳で脊髄留置症候群のため手術を受けましたが症状は悪化傾向にあり薬物療養中です。今年の5月、学校の先生とのやり取りで拒否反応があり、不登校になりました。自宅での自己導尿もできなくなり、腎盂腎炎、尿路感染症で入院を繰り返すようになり、訪問看護が導入されました。障害を抱えての生活は、いくつもの問題に向き合いながら解決の日々であり、当事者でないと分からない悩みがたくさんあります。訪問看護師にできることは、ささいなことでしょうか。しかし、障害に向き合っていては、生きている子どもたちやご家族の悩みや苦しみを一緒に共有しながら、障害と共に生きていくことを支えていけたらと思っています。

※1 脊髄性筋萎縮症Ⅰ型：脊髄の運動神経細胞(脊髄前角細胞)の病変によって起こる神経原性の筋萎縮症。
※2 脊髄係留症候群：脊髄が脊椎の足側につなぎ止められ、神経が引き伸ばされることで、下肢運動障害や排尿障害が起こる状態。
※3 自閉症スペクトラム：発達障害のひとつ。先天的な脳機能障害であり、いわゆる自閉症やアスペルガー症候群もこのカテゴリの中に含まれます。
※4 DV：ドメスティック・バイオレンスは、同居関係にある配偶者や内縁関係、近親者間で起こる家庭内暴力。

医療福祉生協連の看護師求人サイト

CO-OPナース
<http://nurse-coop.jp/>



北は北海道から南は沖縄まで42都道府県にある、106の医療福祉生協。75の病院、343の診療所、189の訪問看護ステーション、28の老人保健施設を展開し、約1万2500人の看護職員が勤めています(2017年3月末現在)。全国ネットワークを生かした豊富な求人サイトを、完全無料で利用できます。

このサイトに載っていない事業所でも、気軽にお問い合わせください。